

# 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター研究集会

## 東西・南北・上下から見た日本の気象と気候

日 時：平成28年8月31日（水）13:00～17:20

9月 1日（木） 9:00～15:00

場 所：大槌町中央公民館

〒028-1121 岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割金崎126

TEL 0193-42-3030

研究代表者：西井 和晃（三重大学大学院生物資源学研究科）\*

田中 潔（東京大学大気海洋研究所）

\*連絡先 TEL：059-231-9573、FAX：059-231-9634

e-mail：nishii@bio.mie-u.ac.jp

共催：大槌町

## プログラム

8月31日（水）

13:00～13:05 趣旨説明, 事務連絡

### セッション1（座長：宮本 歩）

13:05～13:30 西川 はつみ（北海道大学）\*

北太平洋 SST フロントの日本の気象への影響

13:30～13:50 大河内 雄太（三重大学）

6つのラジオゾンデを用いた係留観測

13:50～14:10 杉本 憲彦（慶応義塾大学）

渦からの自発的な重力波放射とその反作用 — 海洋のエネルギー収支も念頭に—

14:10～14:25 休憩

### セッション2（座長：安藤 雄太）

14:25～14:50 望月 崇（海洋研究開発機構）\*

最近の10年規模気候変動とその予測の再考

14:50～15:10 吉田 聡 (海洋研究開発機構)

北太平洋低気圧活動の長期変動

15:10～15:30 岡島 悟 (東京大学)

JRA55 追加プロダクト～高解像度 SST データ同化による気候平均

15:30～15:50 山口 颯太 (新潟大学)

夏季北太平洋高気圧の変動と大気循環場

15:50～16:05 休憩

### セッション3 (座長: 星 一平)

16:05～16:25 立花 義裕 (三重大学)

千島列島沿いの潮汐混合に伴う低水温がヤマセへ及ぼす遠隔影響

16:25～16:45 平田 英隆 (九州大学)

急発達する温帯低気圧へ暖流が及ぼす影響

16:45～17:05 滋野 陽介 (新潟大学)

北陸地域の冬季雷発生時における大気場の三次元構造

17:05～17:15 未発表者による自己紹介

18:30～ 懇親会 (さんずろ家)

9月1日 (木)

09:00～09:05 事務連絡

### セッション4 (座長: 平田 英隆)

09:05～09:30 中村 哲 (北海道大学) \*

極端な北極海氷減少 (Blue Arctic Ocean) に対する大気応答

09:30～09:50 星 一平 (新潟大学)

北極海氷域変動に伴う成層圏突然昇温の特徴

09:50～10:10 安藤 雄太 (三重大学)

初冬の極夜ジェットの季節進行の停滞とシベリアの寒冷化

10:10~10:30 渡邊 伸 (新潟大学)  
室戸レーダーにより検出された渦の降水システム別統計解析

10:30~10:45 休憩

セッション5 (座長: 岡島 悟)

10:45~11:10 木下 武也 (海洋研究開発機構) \*  
波が作る成層圏物質循環の3次元描像について

11:10~11:30 坂 泰志 (三重大学)  
三四半球をめぐる北半球中高緯度の大気海洋間強制の東進連鎖

11:30~11:50 宮本 歩 (東京大学) \*  
南インド洋の亜熱帯高気圧とストームトラックが下層雲に与える影響

11:50~13:00 昼食休憩

セッション6 (座長: 西川 はつみ)

13:00~13:20 渡邊 俊一 (東京大学) \*  
冬季日本海上にできる収束雲の理想化実験

13:20~13:40 本田 明治 (新潟大学)  
2016年1月下旬の日本各地に記録的寒波をもたらした大気循環場

13:40~14:00 春日 悟 (新潟大学)  
寒冷渦・竜巻間の階層構造

14:00~14:20 金井 惇平 (三重大学)  
台風衰弱のプロセス ~圏界面変動の影響~

14:20~14:40 西井 和晃 (三重大学) \*  
中緯度海洋の大気の潜在的予測可能性への影響

14:40~15:00 総合討論とまとめ

\*招待講演者は25分間(講演20分, 質疑応答5分), 他は20分間(講演16分, 質疑応答4分)